

学習指導要領		荻窪高校 学カスタンダード
<p>A</p> <p>話すこと</p> <p>・聞くこと</p>	<p>ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。</p> <p>イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。</p> <p>ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。</p> <p>エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会問題等、調べた内容を参考にして、自分の考え、意見を持つ。</li> <li>・具体的な根拠を示しながら、自分の考えや意見を話すことができる。</li> <li>・自己紹介のスピーチ等で、何のために、誰に向かって話すのかを考えて、的確な言葉を選んで話すことができる。</li> <li>・グループでの話し合い等で、相手と自分の共通点や相違点をとらえることができる。</li> <li>・司会者や提案者をたて、言葉遣いを考えて話し合うことができる。</li> <li>・相手や場に応じた語句の使い方、態度、論の構成など、自分や他者の良い点、直すべき点を指摘することができる。</li> </ul> <p>※最終年次として、「国語の集大成」という意識をもつ。</p>

学習指導要領		荻窪高校 学カスタンダード
<p>B 書 く こ と</p>	<p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p> <p>イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。</p> <p>ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。</p> <p>エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた題材に即して、自分が体験したことや、考えたこと、身の回りのことなどから、相手や目的に応じた材料を収集することができる。</li> <li>・常体と敬体を区別し、どちらかに統一することができる。</li> <li>・語句や言い回しの重複を避けることができる。</li> <li>・「序論－本論－結論」を意識して 600 字程度の文章を書くことができる。</li> <li>・事実や事柄など、具体的に説明したり、手順や理由などを順序立てて説明したりすることができる。</li> <li>・情景や人物、人情等を、読み手が想像しやすいように描写することができる。</li> <li>・文章の構成の仕方や語句の使い方などの良い点・見直すべき点を指摘することができる。</li> </ul> <p>※最終年次として、「国語の集大成」という意識をもつ。</p>

学習指導要領		荻窪高校 学カスタンダード
C 読 む こ と	ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 比喩法（直喩・隠喩・擬人）を知り、文章中の比喩を理解する。</li> <li>・ 文章中のキーワードを掴む。</li> <li>・ 小説の描写や韻文のリズムを音読を通して味わうことができる。</li> <li>・ 歴史的仮名遣いに留意して読める。</li> <li>・ 物語・随筆・和歌を区別できる。</li> <li>・ 漢文訓読の決まりに従って読める。</li> <li>・ 漢詩の基本を理解する。</li> <li>・ 漢詩のリズムを掴む。</li> </ul>
	イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文章中のポイントとなる単語を指摘する能力をつける。</li> <li>・ 文章中の指示語や接続詞を意識して読むことができる。</li> <li>・ 筆写の主張と具体例とを区別し、主張を中心に要約することができる。</li> <li>・ 基本的な用言・付属語の用法・敬語法を理解する。</li> <li>・ 訓点や基本的な再読文字（未・将など）・置き字（於・而など）・句法（不・使など）について理解する。</li> </ul>
	ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各場面での登場人物の言動と心情を読み取ることができる。</li> <li>・ 比喩表現などから状況や心情をとらえることができる。</li> <li>・ 人物（誰が）、場面（いつ、どこで）、出来事（何を、どうした）を読み取ることができる。</li> <li>・ 人物（誰が）、場面（いつ、どこで）、出来事（何を、どうした）を読み取ることができる。</li> <li>・ 作者の心情を理解する。</li> <li>・ 詩の詠まれた情景を読み味わう。</li> </ul>
	エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各段落の働きを理解し、段落相互の関係を読み取ることができる。</li> <li>・ 情景や心情の変化に注意して、作品全体の筋（ストーリー）をとらえる。</li> <li>・ 用いられている文体の効果や、語句の工夫、対比・比喩などの表現技法を指摘することができる。</li> <li>・ 具体例と意見を区別しながら、書き手の考えの強調点をとらえることができる。</li> </ul>

学習指導要領	荻窪高校 学カスタンダード
<p>オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な形態（文学的な文章・論理的な文章・実用的な文章など）や、幅広い内容・分野（芸術・社会学・自然科学など）の本や文章を、興味関心を持って読むことができる。</li> <li>・読んだ文章を通して、自分とは異なるものの見方、感じ方、考え方に気付くことができる。</li> </ul> <p>※最終年次として、「国語の集大成」という意識をもつ。</p>

学習指導要領		荻窪高校 学カスタンダード
<p>伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項</p>	<p>ア 伝統的な言語文化に関する事項                      (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p> <p>イ 言葉の特徴や決まりに関する事項                      (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。</p> <p>(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌の朗詠・贈答歌の習慣、三大集(万葉・古今・新古今)を知る。</li> <li>・基本的な古典知識(月の異名、十二支など)を知る。</li> <li>・中国の文字や書物の影響のうち基本的なもの(故事成語など)を知る。</li> <li>・歴史的仮名遣い、基本的な用言の活用(「活用表が完成できる」など)、基本的な助動詞(「ず」「けり」など)、係り結び、敬語などを理解する。</li> <li>・訓点や基本的な再読文字(未・将など)・置き字(於・而など)・句法(不・使など)について理解し、訓読したり書き下し文に改めたりすることができる。</li> <li>・熟語の主語・述語や修飾・被修飾の関係などを理解する。</li> <li>・和語・漢語・外来語の区別ができ、効果の違いを知る。</li> <li>・言語の主要な機能(認識、伝達、思考、想像など)を理解する。</li> <li>・歴史的仮名遣いを理解して古文を正しく読むことができる。</li> <li>・基本的な古今異義語(うつくし、をかしなど)の意味の違いを知る。</li> <li>・基本的な文において、文の成分(主語、述語、修飾語など)を指摘することができる。</li> <li>・比較的平易な文章の段落構成(序論・本論・結論、起承転結など)を理解する。</li> <li>・比較的平易な文章について、語句の意味・用法を理解する。</li> <li>・説明的文章に使用される語句のうち、基本的なもの(客観、理性、メカニズム、メディアなど)の意味を理解する。</li> <li>・基礎的な教科書に取り上げられている、基本的な古語(遊び、いらふ、ありがたし、やがてなど)40語程度の意味を知る。</li> <li>・基礎的な教科書に取り上げられている、基本的な漢語(不、使、也、欲、乃など)20語程度の意味</li> </ul>

学習指導要領	荻窪高校 学カスタンダード
<p>ウ 漢字に関する事項                      (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。</p>	<p>を知る。                      ・常用漢字の大方を掴み、学年別漢字配布表の漢字1006字を含む1300字程度の読み書きができるようにする。                       ※最終年次として、「国語の集大成」という意識をもつ。</p>

学習指導要領		都立荻窪高校 学カスタンダード
<p>(1) 私たちの時代と歴史</p>	<p>現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史的事象と現在との結び付きを考える活動を通して、歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義に気付かせる。</p> <p>開国前後から第二次世界大戦終結までの政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、相互の関連を重視して考察させる。</p>	<p>身近な社会的事象や、地域の事象、現代の課題などを追究し、近現代の歴史的事象と現在との結び付きに気付くことで、自らが歴史の当事者であることを知る。</p>
<p>(2) 近代の日本と世界</p>	<p>ア 近代国家の形成と国際関係の推移</p> <p>(ア) 近代の萌芽や欧米諸国のアジア進出、文明開化などに見られる欧米文化の導入と明治政府による諸改革に伴う社会や文化の変容、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程について考察させる。</p>	<p>[近代の萌芽]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欧米で資本主義経済を特質とする近代国家が成立し、植民地を求めてアジアに進出したことを知る。</li> <li>・手工業の発展、国学や蘭学などの新しい思想や学問の登場、寺子屋などの教育機関の発達を知るとともに、これらが日本の近代化の基盤になったことを知る。</li> </ul> <p>[開国から幕府の滅亡]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカからの開国要求を契機に、江戸幕府が開国したことを知る。</li> <li>・日米修好通商条約の締結によって、日本が欧米の貿易市場として開かれたことを知る。また、その内容が不平等な条約であったことを知る。</li> <li>・開国後の政治情勢の中で尊皇攘夷派と公武合体派の対立があったことを知る。</li> </ul> <p>[明治初期の諸改革]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明治新政府が中央集権化を図るとともに、富国強兵、殖産興業政策の下で、廃藩置県、封建的身分制度の廃止、学制や徴兵令、地租改正などの諸改革を実施したことを知る。</li> <li>・欧米文化が導入され、人々の生活が変化していったことを知る。</li> </ul> <p>[明治初期の外交]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清国と日清修好条規、朝鮮とは日朝修好条規が結ばれたことを知る。</li> <li>・ロシアや清国などと領土画定が進められていったこ</li> </ul>

学習指導要領	都立荻窪高校 学カスタンダード
<p>(イ) 条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、政党の役割と社会的な基盤に注目して、国際環境や政党政治の推移について考察させる。</p>	<p>とを知る。</p> <p>[自由民権運動の展開]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>藩閥政府に対する不満と不平士族の反乱が、自由民権運動につながっていったことを知る。</li> <li>士族から豪農層、貧農へと政治的関心が高まったことを知る。</li> </ul> <p>[立憲体制の成立]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大日本帝国憲法の制定により、欧米諸国以外で初めて立憲体制が整えられたことを知る。</li> <li>刑法や民法など諸法典が整備されたことを知る。</li> </ul> <p>[条約改正]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>明治政府が欧米諸国との不平等条約改正を主要な外交課題として取り組んでいたことを知る。</li> </ul> <p>[日清・日露戦争と国際関係]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>朝鮮に対する支配権をめぐり日本と清国との間で対立が起き、日清戦争が始まったことを知る。</li> <li>日清戦争は下関条約によって講和が成立したことを知る。</li> <li>三国干渉によって日本とロシアの対立が激しくなったことや列強の中国分割が進んだことを知る。</li> <li>日英同盟を結んだ日本は、ロシアと朝鮮や満州の権益をめぐり対立し、日露戦争に至った経緯を知る。</li> <li>日露戦争はポーツマス条約によって講和が成立したことを知る。</li> <li>日清・日露戦争を通じて日本は国際的地位を高め、韓国併合を行うなど東アジアでの勢力を拡大させたことを知る。</li> </ul> <p>[政党政治の展開]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第一次護憲運動と原敬内閣の成立により、本格的な政党内閣が組織されたことを知る。</li> <li>第一次世界大戦を経て労働争議や小作争議などが増加したことを知る。</li> <li>第二次護憲運動を経て二大政党制が始まったことを知る。</li> <li>加藤高朗内閣のもとで普通選挙法が成立したことを知る。</li> </ul>

学習指導要領	都立荻窪高校 学カスタンダード
<p>イ 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢                      (ア) 産業革命の進行、都市や村落の生活の変化と社会問題の発生、学問・文化の進展と教育の普及、大衆社会と大衆文化の形成に着目して、近代産業の発展と国民生活の変化について考察させる。</p> <p>(イ) 諸国家間の対立や協調関係と日本の立場、国内の経済・社会の動向、アジア近隣諸国との関係に着目して、二つの世界大戦とその間の内外情勢の変化について考察させる。</p>	<p>知る。</p> <p>[産業革命の進展と資本主義の発展]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の産業革命は、紡績業や製糸業を中心とする軽工業から始まったことを知る。</li> <li>日本の産業革命における重工業の発展は、日清・日露戦争による軍需によることを知る。</li> </ul> <p>[国民生活の変化]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工業化の進展など、産業構造の変化により農村から都市へ大規模な人口移動が起きたことを知る。</li> <li>日露戦後から昭和初期にかけて、「大正デモクラシー」という風潮の中で様々な思想が浸透したことを知る。</li> </ul> <p>[第一次世界大戦前後の国内外の動向]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第一次世界大戦において、日本が連合国として参戦し、主に中国における利権を得て国際的な立場を強めようとしたことを知る。</li> <li>パリ講和会議とワシントン会議及び幣原外交について知る。また、五・四運動、三・一独立運動について知る。</li> <li>大戦景気と社会・産業構造の変化について知る。</li> </ul> <p>[戦間期の国内外の動向]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>戦後恐慌、震災恐慌、金融恐慌、昭和恐慌など、日本で続けて恐慌が発生し、経済状況が悪化する中で、国民生活が厳しさを増して社会不安が増大したことを知る。</li> <li>世界恐慌によって資本主義諸国が経済危機を強めたことを知る。</li> <li>国家主義思想の影響や軍部の台頭によって、五・一五事件や二・二六事件などが起こったことを知る。</li> </ul>

学習指導要領	都立荻窪高校 学カスタンダード
<p>ウ 近代の追究</p> <p>近代における政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向が相互に深くかかわっているという観点から、産業と生活、国際情勢と国民、地域社会の変化などについて、具体的な歴史的事象と関連させた適切な主題を設定して追究し表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を育てる。</p> <p>第二次世界大戦後の政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、現代の諸課題と近現代の歴史との関連を重視して考察させる。</p> <p>(3) 現代の日本と世界</p> <p>ア 現代日本の政治と国際社会</p> <p>占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。</p>	<p>[第二次世界大戦前後の国内外の動向]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日中戦争が長期化する中で、国内では大政翼賛会が発足して全体主義的な国家体制が構築されるなど、東亜新秩序の形式によって局面を打開しようとしたことを知る。</li> </ul> <p>近代日本がどのように形成され展開してきたかを、政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向が相互に深くかかわっていることを知る。</p> <p>[我が国の再出発]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第二次世界大戦敗戦後、日本はアメリカ軍を中心とした連合国軍の占領下に置かれていたことや、連合国軍最高司令官総司令部（GHQ/SCAP）が日本の非軍事化と民主化を目的に間接統治を実施したことを知る。</li> <li>戦後、我が国の民主化を推進するために、連合国軍最高司令官総司令部（GHQ/SCAP）が五大改革を行ったことについて、その概要を知る。</li> <li>GHQ草案を基に新たに制定された日本国憲法について、大日本帝国憲法との大きな違いを踏まえて、特に三大原理について知る。</li> <li>戦後の混乱の中で、民主選挙の実施とともに、我が国における政党政治が復活したことや様々な社会運動が行われたことについて知る。</li> </ul> <p>[冷戦の開始と講和]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>連合国を中心に国際連合（国連）が結成される一方、アメリカを中心とする西側陣営とソ連を中心とする</li> </ul>

学習指導要領	都立荻窪高校 学カスタンダード
<p>イ 経済の発展と国民生活の変化</p> <p>戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。</p>	<p>東側陣営の対立＝「冷たい戦争」(冷戦)が始まり、世界が東西対立(冷戦)に巻き込まれたことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東アジア情勢の変化の中でアメリカの対日占領政策が「日本の非軍事化と民主化」から「西側(資本主義)陣営の一員として早期の経済復興実現」へと変化したことを知る。</li> <li>朝鮮戦争の開始が日本の政治・経済に大きな影響を与えたことを知る。</li> <li>サンフランシスコ平和条約が調印され、日本が独立を回復したことや、同条約調印と同じ日に、日米安全保障条約が調印されたことを知る。</li> <li>琉球諸島、小笠原諸島、奄美諸島は、サンフランシスコ平和条約締結後もアメリカの施政権下に置かれたことを知る。</li> </ul> <p>[政治や対外関係の推移]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の戦後の政治状況について、保革対立の下での保守一党優位の政治体制(55年体制)が約40年続いたことを知る。</li> <li>日ソ共同宣言、国際連合への加盟、日韓基本条約、沖縄返還、日中国交回復などを事例として、我が国の独立後の外交政策について知る。</li> <li>冷戦の終結とともに、国際社会から我が国に求められるようになった国際貢献の具体的な内容について知る。</li> </ul> <p>[日本経済の発展と国民生活の変化]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国が戦後の経済復興を成し遂げ、高度経済成長、石油危機を経て世界有数の経済大国となったことについて知る。</li> <li>高度経済成長の過程において、社会構造や家族の形態が変化したことや、公害などの社会問題が発生したことを知る。</li> <li>二度の石油危機を経て、高度経済成長が終焉し、日本経済が安定成長の時代に入ったことについて知る。</li> </ul>

学習指導要領	都立荻窪高校 学カスタンダード
<p>ウ 現代からの探究</p> <p>現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史にかかわる身の回りの社会的事象と関連させた適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その解決に向けた考えを表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身につけさせる。</p>	<p>現代の日本社会が直面する身近な社会的事象や、地域の事象、現代の課題などについて、様々な資料等を活用して、具体的な事例とともに知る。</p>

学習指導要領		都立荻窪高校 学カスタンダード
<p>(1) 現代世界の特色と諸課題の地理的考察</p>	<p>世界諸地域の生活・文化及び地球的課題について、地域性や歴史的背景を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を深めるとともに、地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 地球儀や地図からとらえる現代世界 地球儀と世界地図との比較、様々な世界地図の読図などを通して、地理的技能を身に付けさせるとともに、方位や時差、日本の位置と領域、国家間の結び付きなどについてとらえさせる。</p>	<p>[位置、方位、時差]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地図帳を活用して、地球上の任意の位置を緯度・経度によって示すことができる。</li> <li>・時差の存在とその必要性を理解し、簡単な時差の計算ができる。また、サマータイムの仕組みを理解できる。</li> </ul> <p>[地球儀、世界地図]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球儀や世界地図を活用して、球面を平面にすることはできないことと、そのため用途に応じて様々な図法の地図が作成されていることを知る。特にメルカトル図法と正距方位図法の特徴を理解できる。</li> </ul> <p>[日本の位置と領域]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球儀や地図帳などを活用して、日本の位置をとらえることができる。</li> <li>・日本が直面する領土をめぐる問題や経済水域の問題について、我が国が正当に主張している立場を理解するとともに、国境のもつ意義や領土問題が人々の生活に及ぼす影響などを理解する。</li> </ul> <p>[国家間の結び付き]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国家間の結び付きや貿易について、主題図を活用して国際連合やEU、ASEAN、OPEC、WTOなど主要な組織とその役割を知る。</li> <li>・交通・通信や観光について、様々な交通手段や通信手段の特性を知るとともに、世界の観光の動向について知る。</li> </ul> <p>[自然環境と人間生活]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の陸地が、安定陸塊、古期造山帯、新期造山帯からなることを知り、環太平洋造山帯やアルプス=ヒマラヤ造山帯からなる新期造山帯では地震の発生や火山活動が多く見られることを知る。</li> <li>・世界の気候について、大気の大循環を踏まえ、熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯（冷帯）、寒帯の分布を知る</li> </ul>



学習指導要領		都立荻窪高校 学カスタンダード
<p>(2) 生活圏の諸課題の地理的考察</p>	<p>生活圏の諸課題について、地域性や歴史的背景を踏まえて考察し、地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 日常生活と結び付いた地図</p> <p>身の回りにある様々な地図の収集や地形図の読図、目的や用途に適した地図の作成などを通して、地理的技能を身に付けさせる。</p> <p>イ 自然環境と防災</p> <p>我が国の自然環境の特色と自然災害とのかかわりについて理解させるとともに、国内にみられる自然災害の事例を取り上げ、地域性を踏まえた対応が大切であることなどについて考察させる。</p> <p>ウ 生活圏の地理的な諸課題と地域調査</p> <p>生活圏の地理的な諸課題を地域調査やその結果の地図化などによってとらえ、その解決に向けた取組などについて探究する活動を通して、日常生活と結び付いた地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。</p>	<p>[身の回りにある地図の収集と地形図の読図]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市街図、道路地図、観光案内図などの身の回りにある様々な地図を知る。</li> <li>地形図は地表の様子を描くために等高線と地図記号を用いていることを知る。</li> </ul> <p>[主題図の作成]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校から最寄り駅までの地図など、簡易な地図を描くことができる。また、地理情報システム (GIS) が様々な分野で活用されていることを知る。</li> </ul> <p>[我が国の自然環境の特色と自然災害]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の自然環境の特色を理解し、過去に多くの自然災害が発生してきたことを知る。</li> <li>地震のメカニズムを理解し、今後起こりうると予測されている東京湾北部大地震について考察する。</li> </ul> <p>[自然災害と防災]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活圏の自然環境と過去に発生した自然災害について知るとともに、今後想定される自然災害の危険予測についてハザードマップが用意されていることを知る。</li> </ul> <p>[課題解決のための地域調査]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域調査の基本的な方法や課題設定から発表までの流れを知る。</li> <li>調査結果を図表や地図にまとめて表現する方法を知る。</li> </ul>

学習指導要領		都立荻窪高校 学カスタンダード
<p>(1) 現代の政治</p>	<p>現代の日本の政治及び国際政治の動向について関心を高め、基本的人権と議会制民主主義を尊重し擁護することの意義を理解させるとともに、民主政治の本質について把握させ、政治についての基本的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 民主政治の基本原則と日本国憲法</p> <p>日本国憲法における基本的人権の尊重、国民主権、天皇の地位と役割、国会、内閣、裁判所などの政治機構を概観させるとともに、政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義、地方自治などについて理解させ、民主政治の本質や現代政治の特質について把握させ、政党政治や選挙などに着目して、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民主政治の基本原則として、ホブズ、ロック、ルソーがそれぞれ説いた社会契約説の内容について知る。</li> <li>・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権、平和主義を三大原則としていることについて理解し、大日本帝国憲法においては君主主権であったものが、日本国憲法の下では国民主権となったことや、現在、天皇は日本国及び日本国民統合の象徴であることなどについて知る。</li> <li>・日本国憲法の条文を踏まえて、国会、内閣、裁判所の諸機能について知る。例えば、国会が国権の最高機関で唯一の立法機関であり、衆議院・参議院の二院制を採用していることを知る。</li> <li>・法は社会生活における人間の行動を規律する社会規範の一つであり、国家による強制を伴うという点で、道徳や慣習とは異なることを知る。</li> <li>・基本的人権が人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果として確立されたものであることを踏まえ、日本国憲法が保障している基本的人権について、その内容、確立の歴史的経緯、政治制度との関連などについて知る。</li> <li>・現代社会における権利相互の衝突に際しては、司法による調停や判決が下されることを知る。例えば、重大事件等に対する国民の司法参加を促す取組として裁判員制度があることを知る。</li> <li>・我が国における議会制民主主義が、日本国憲法に明記された国民主権と国会を国権の最高機関と位置付ける政治制度を土台に、国民代表制と多数決の原理に基づく議会を通じて運営されていることを知る。</li> <li>・我が国の地方自治制度の特徴として、直接民主制の考え方がより多く取り入れられており、首長と議会が住民の代表としてそれぞれ独立に選ばれていることなどを知る。</li> </ul>

学習指導要領	都立荻窪高校 学カスタンダード
<p>イ 現代の国際政治</p> <p>国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解させ、国際政治の特質や国際紛争の諸要因について把握させ、国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民主政治の本質は、主権者である国民の同意に権力の正統性を求める政治であり、一方、現代政治の特質として、国民の価値観が多様化する中で、政府による利害調整の働きへの期待が大きくなっていることを知る。</li> <li>・ 55年体制の成立や小選挙区比例代表並立制の採用といった歴史的経緯を踏まえながら、戦後日本の政党政治と選挙制度の変遷について、その概要を知る。</li> <li>・ 冷戦終結後の国際社会の動向を踏まえて、世界の多極化や新興国の急速な経済発展等が進む中で、国際社会の平和と安定のために、国際機関が様々な活動を展開していることを知る。</li>   <li>・ 国際法に関する基本的な仕組みや、統一的な立法機関が存在せず、当事国の同意以外、強制力を十分にもたない現状などについて知る。</li> <li>・ 人権、国家主権、領土に関する国際法上の規定や、国際平和に向けた各国の協調的な取組が重要であることを知る。特に、北方領土、竹島、尖閣諸島が我が国固有の領土であることを知る。</li> <li>・ 国際連合の主要な機関の名称と役割について、例えば、安全保障理事会が国際平和と安全の維持を目的とした機関であることや、五か国の常任理事国が拒否権を有することなどについて知る。</li> <li>・ 我が国の安全保障における日米安全保障条約のもつ意義や、自国の防衛と国際社会の平和と安全に向けて自衛隊が果たしている役割などについて知る。</li> <li>・ 現代の国際紛争は、国家間の対立だけではなく、民族・宗教間の対立やテロ行為を端緒とするものなど、その要因が多様化しており、国際的な連携が紛争の未然防止に不可欠であることを知る。</li> <li>・ グローバル化が進展する国際社会において、我が国に求められる、国際平和の実現に向けた人的・経済的な貢献の在り方について知る。</li> </ul>

学習指導要領		都立荻窪高校 学カスタンダード
<p>(2) 現代の経済</p>	<p>現代の日本経済及び世界経済の動向について関心を高め、日本経済のグローバル化をはじめとする経済生活の変化、現代経済の仕組みや機能について理解させるとともに、その特質を把握させ、経済についての基本的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 現代経済の仕組みと特質 経済活動の意義、国内経済における家計、企業、政府の役割、市場経済の機能と限界、物価の動き、経済成長と景気変動、財政の仕組みと働き及び租税の意義と役割、金融の仕組みと働きについて理解させ、現代経済の特質について把握させ、経済活動の在り方と福祉の向上との関連を考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済活動とは、分業と交換の仕組みを活用して、人間生活の維持・向上のために行われるものであることを知る。</li> <li>・現代の国民経済を構成する主要な経済主体である家計、企業、政府のそれぞれの機能と役割について知る。</li> <li>・市場経済の仕組みについて、完全な自由競争市場においては、価格の自動調整機能によって均衡価格が成立し、経済資源の効率的な配分が実現されることを知る。また、市場の失敗の例として、公害問題や消費者問題（製品事故や薬害等）があることを知る。</li> <li>・物価や景気の変動が国民生活に大きな影響を与えることや、国民生活を向上させるには、経済成長と物価の安定が必要であることについて知る。例えば、1990年代以降の我が国において物価下落（デフレーション）が進行し、長期的な不況に陥ったことについて知る。</li> <li>・政府による経済活動のことを財政と呼び、国民から徴収した税金等を財源として様々な公共支出が行われていることや、国民経済における租税の意義と役割について知る。</li> <li>・金融市場における直接金融と間接金融の違いや、現代の管理通貨制度の仕組みと中央銀行の機能などについて知る。例えば、我が国の中央銀行である日本銀行が、発券銀行、銀行の銀行、政府の銀行という三つの特徴を有していることについて知る。</li> <li>・現代経済の特徴について、我が国をはじめ世界の多くの国々の経済体制が、完全な市場経済でも計画経済でもなく、混合経済と呼ばれる仕組みから成り立っていることを知る。</li> <li>・経済活動の在り方と福祉の向上との関連について、経済発展を優先する効率性を重視した考え方</li> </ul>

学習指導要領	都立荻窪高校 学カスタンダード
<p>イ 国民経済と国際経済</p> <p>貿易の意義、為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解させ、グローバル化が進む国際経済の特質について把握させ、国際経済における日本の役割について考察させる。</p> <p>政治や経済などに関する基本的な理解を踏まえ、持続可能な社会の形成が求められる現代社会の諸課題を探究する活動を通して、望ましい解決の在り方について考察を深めさせる。</p> <p>ア 現代日本の政治や経済の諸課題</p> <p>少子高齢社会と社会保障、地域社会の変貌と住民生活、雇用と労働を巡る問題、産業構造の変化と中小企業、農業と食料問題などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。</p>	<p>と、福祉向上に求められる公平性を重視した考え方は両立させることが難しいことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際分業における貿易の意義と変動相場制の基本的な仕組みを知る。例えば、1ドル＝200円が100円に変化することが円高であり、円高になると輸入が増加する傾向があることを知る。</li> <li>・関税と貿易に関する一般協定（GATT）を引き継いで設立された世界貿易機関（WTO）の主な役割や、国際通貨基金（IMF）が戦後の世界経済に果たしてきた役割について知る。</li> <li>・国際的な地域経済統合の動きとして、欧州連合（EU）について知る。例えば、EUの前身であるヨーロッパ共同体（EC）の成立と拡大、共通通貨ユーロの導入などの経緯について知る。</li> <li>・南北問題とその解決のための具体的方策について、国連貿易開発会議などの国際機関の動きを中心に知る。例えば、モノカルチャー経済からの脱却のために我が国を含む経済協力開発機構（OECD）加盟国などが発展途上国援助を行っていることを知る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国が少子高齢社会を迎えて、様々な面で国民経済に大きな影響が出始めていることや、医療や年金など社会保障費の財政負担の増大が大きな問題となっていることを知る。</li> <li>・高度経済成長以降の我が国の地域社会の変化について、都市と農村とを比較しながら、過疎と過密</li> </ul>

学習指導要領		都立荻窪高校 学カスタンダード
<p>(3) 現代社会の諸課題</p>	<p>イ 国際社会の政治や経済の諸課題 地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、人種・民族問題と地域紛争、国際社会における日本の立場と役割などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。</p>	<p>が同時に進行してきたこととその背景を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用と労働を巡る問題について、少子高齢化や産業構造の変化、規制緩和の進展などにより、就業形態が多様化し労働市場が大きく変化していることを知る。</li> <li>・我が国における産業構造の変化について、急速な技術革新や情報化が進展するなど、経済のソフト化・サービス化が進んでいることや、中小企業と大企業との間に様々な格差が存在していることなどを知る。</li> <li>・農業と食料問題について、日本の食料自給率が他の先進国と比べて極めて低いことや、農業に対する様々な規制や補助金の問題、農業従事者の高齢化問題など、日本の農業をめぐる諸課題について知る。</li> <li>・地球環境と資源・エネルギー問題について、温室効果ガスの蓄積による地球規模の気候変動やオゾン層の破壊、熱帯林の減少など、様々な問題が生じていることを知る。</li> <li>・国際経済格差の是正と国際協力について、先進国と発展途上国との経済格差が拡大する南北問題と、発展途上国間において経済的格差が広がる南南問題があり、これらの問題解決のために国際的な取組が行われていることを知る。</li> <li>・人種・民族問題等について、それぞれの人種・民族はそれぞれの固有の文化や宗教などをもっており、その違いや経済的な格差が、時として相互の反感や差別と結び付き、人種・民族問題を発生させていることについて知る。</li> <li>・国際社会における日本の立場と役割について、これまで我が国が実施してきた政府開発援助（ODA）や国連平和維持活動（PKO）の実績などを踏まえて、今後も国際社会に貢献していくことが重要であることを知る。</li> </ul>

学習指導要領		都立荻窪高校 学カスタンダード
聞く こと	ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。	・英語による簡単な指示や基礎的な発問を聞き取ることができる。
	イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。	・絵や図を参考にして、内容を推測するなどして聞き続けることができる。
読む こと	ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握できるようにする。	・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要な基本的な文化的背景について理解する。
	イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。	・教科書の文章を読んで、絵や図などを参考にして、推測しながら読み続けることができる。
話す こと (やりとり)	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。	・うまく言えないことがあっても、簡単な表現やジェスチャーなどを用いて、情報や考えを相手に伝えることができる。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができるようにする。	・教科書の内容を理解した後に、簡単な英語の質問を聞いて、Yes/No または単語や語句を用いて答えることができる。
話す こと (発表)	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。	・はっきりと大きな声で、相手の目を見ながら、ジェスチャーを用いりながら、簡単な英語で話すことができる。

学習指導要領		都立荻窪高校 学カスタンダード
書くこと	<p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵や図を用いながら、わかりやすい簡単な英語で自分の考えや気持ちを伝えることができる。</li> </ul>
	<p>ア 日常的な話題について、使用される語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「書くこと」の言語活動に必要な基本的な文化的背景について理解する。</li> </ul>
	<p>イ 社会的な話題について、使用される語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の文章について、ワークシートなどを用いて要約文を完成させることができる。</li> </ul>



学習指導要領		都立荻窪高校 学カスタンダード
聞くこと	<p>ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語による簡単な指示や基礎的な発問を聞き取ることができる。</li> <li>絵や図を参考にして、内容を推測するなどして聞き続けることができる。</li> </ul>
読むこと	<p>ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握できるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要な基本的な文化的背景について理解する。</li> <li>教科書の文章を読んで、絵や図などを参考にして、推測しながら読み続けることができる。</li> </ul>
話すこと（やりとり）	<p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>うまく言えないことがあっても、簡単な表現やジェスチャーなどを用いて、情報や考えを相手に伝えることができる。</li> <li>教科書の内容を理解した後に、簡単な英語の質問を聞いて、Yes/No または単語や語句を用いて答えることができる。</li> </ul>
話すこと（発表）	<p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>はっきりと大きな声で、相手の目を見ながら、ジェスチャーを用いりながら、簡単な英語で話すことができる。</li> </ul>

学習指導要領		都立荻窪高校 学カスタンダード
イ	<p>社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵や図を用いながら、わかりやすい簡単な英語で自分の考えや気持ちを伝えることができる。</li> <li>・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「書くこと」の言語活動に必要な基本的な文化的背景について理解する。</li> <li>・教科書の文章について、ワークシートなどを用いて要約文を完成させることができる。</li> </ul>
書くこと	<p>ア 日常的な話題について、使用される語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>	
イ	<p>社会的な話題について、使用される語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>	



学習指導要領		都立荻窪高校 学カスタンダード
(1) 商 業 の 学 習 ガ イ ダ ン ス	ア 商業を学ぶ目的と学び方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスが商品の生産・流通・消費にかかわる様々な事業活動であることを理解し、将来のスペシャリストを目指して自己の能力を高めるためには、基礎・基本の学習が重要であることを理解する。</li> <li>・商業の学習を通じ、ビジネスが我々の生活に不可欠ものであることを知り、ビジネスの実践力や豊かな人間性などを身に付けることが重要であることを理解する。</li> <li>・将来、自らも経済社会の一員としてビジネスにかかわっていくことを意識し、日常生活や将来の職業と関連付けた学習を心掛けるとともに、主体的・継続的な学習態度が重要であることを理解する。</li> </ul>
	イ 商業の学習分野と職業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業で学習するマーケティング、ビジネス経済、会計及びビジネス情報の各分野の概要を知り、それぞれの内容がどのような職業に役立っているかを理解する。</li> <li>・選択科目として履修する各科目の学習内容と将来の進路希望を結び付けるようにする。</li> </ul>
(2) ビ ジ ネ ス と コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	ア ビジネスに対する心がまえ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人に求められるビジネスマナー等の意義を理解し、挨拶、礼の仕方、電話応対など基本的なマナーを身に付けることができる。</li> <li>・協調性や倫理観、自己責任など、ビジネスに対する心構えや考え方について理解する。</li> </ul>
	イ コミュニケーションの基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスの場面に応じた言葉の使い方、話の聞き方、話し方、表情など基礎的なコミュニケーションの方法を理解し、話し相手や時と場所をわきまえた態度、言葉遣いや身だしなみなどを身に付けられるようにする。</li> </ul>
	ウ 情報の入手と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスの諸活動に必要な情報を様々なメディアや公的機関等から入手する方法を理解し、入手した文字、数値、画像、図表などの情報を利用できるデータとして適切に整理・活用できる。</li> <li>・入手できる情報の中には古い情報や誤った内容が含まれている可能性があることを知り、データの信頼性について確認することの重要性を理解する。</li> </ul>

学習指導要領		都立荻窪高校 学カスタンダード
(3) ビジネスと売買取引	ア 売買取引とビジネス計算の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスとしての売買の一連の流れ、取引成立にかかわる契約の締結から履行までの手続きについて理解する。</li> <li>・利息、商品代金、外国貨幣、度量衡など、ビジネス計算に関する基本的な計算ができるようにする。</li> </ul>
	イ 代金決済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代金決済の方法や通貨、小切手、手形、クレジットカード、電子マネーなどの支払用具について、それぞれの特徴や利点等について理解する。</li> </ul>
	ア 経済の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品の生産から流通、消費に至る経済活動の仕組みについて理解する。</li> </ul>
(4) 経済と流通の基礎		<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地、資本及び労働力といった生産要素について理解する。</li> <li>・企業、家計及び政府（財政）といった経済主体の役割と、経済の循環について理解する。</li> <li>・需用と供給の関係による市場における価格形成について理解し、身近な例を用いて説明できる。</li> <li>・ビジネスの場面におけるトレード・オフと機会費用について理解する。</li> </ul>
	イ ビジネスの役割と発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会資本の整備、技術革新、雇用機会の増大など、ビジネスの諸活動が経済の発展に寄与する役割について理解し、具体例を挙げて説明できる。</li> <li>・サービス経済化や情報化、グローバル化など、我が国のビジネスを取り巻く経済環境の変化について知り、今後のビジネスの発展について考察できる。</li> <li>・今日のビジネスが直面する環境問題、エネルギー問題、食料問題などの諸課題について知り、その課題解決に向けたビジネスの在り方について理解する。</li> </ul>
	ウ 経済活動と流通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産と消費の隔たりについて理解し、その隔たりを解消するための流通の意義や機能について説明できる。</li> <li>・生産から消費に至る流通の役割分担の変化を知り、小売商や卸売商などの役割について理解する。</li> <li>・今日の商品流通の仕組みと機能を知り、マーケティングの意義と役割について理解する。</li> </ul>
	エ ビジネスの担い手	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者、卸売業、小売業、金融業、保険業、運輸業、情報通信業などのビジネスの担い手の概要や役割について理解する。</li> <li>・ビジネスの担い手である企業の役割や現在の動向について理解し、企業に求められる社会的責任や倫理について説明できる。</li> <li>・ビジネスにかかわる様々な企業の形態と経営組織の種類と特徴について説明できる。</li> </ul>

学習指導要領		都立荻窪高校 学カスタンダード
(5) 企業活動の基礎	ア 企業の形態と経営組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなビジネスの創造や起業家精神、企業経営の指針となる経営理念について理解し、その重要性について説明できる。</li> </ul>
	イ 資金調達	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業活動に必要な資金の調達方法とその特徴について理解する。</li> </ul>
	ウ 企業活動と税	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業活動にかかる税の種類と概要、及び申告と納付の概要について理解する。</li> </ul>
	エ 雇用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国における雇用の意義、企業の雇用形態の特徴について理解する。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用の安定や福利厚生など雇用に伴う企業の責任について理解する。</li> </ul>